

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和5年10月30日  
#健康管理士 村山 章

先月、人間力に関して少しふれました。が、今回も人間力について考えてみたいと思います。内閣府では、2003(平成15)年に「人間力戦略研究会」を発足させ、「報告書 若者に夢と目標を抱かせ、意欲をたかめる～信頼と連携の社会システム～」をまとめました。

そこでは人間力を「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義しています。これでは分かりにくいですが、人間力の構成要素に着目すると次の3カテゴリーに分かれるようです。①基礎学力、論理的思考力、創造力などの知的能力的要素②コミュニケーションスキル、リーダーシップ、公共心、規範意識、他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力などの社会・対人関係力的要素③これらの要素を十分に発揮するための意欲、忍耐力や自分らしい生き方、成功を追求する力などの自己制御的要素。そしてなおかつ、これらを総合的にバランスよく高めることが、人間力を高めることにつながるそうです。

まさに人間として理想的な存在だと言ってよいと思います。また地方自治体を中心となり学校、家庭、地域、企業が協力していくネットワークも重要視され、国の支援推進も求められています。文科省によれば、人間力を養う立場にある学校には、人間力と共に柱になる力として、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を核とする「社会人基礎力」も挙げています。

インターネット検索によりますと、人間力が低い人の特色として自己中心的で自分を持っていないとありました。逆に人間力が高い人の特色として常に穏やかで話しやすく視野が広い、視座が自由で自分を持っている、リーダーシップやモラルがある、ストレスへの対処法を持っている、成長意欲が高く新しい事象に対して積極的にチャレンジする、とありました。

今はまさに時代の転換期です。自ら学び、自ら考え、人間力を高めていきたいと思えます。